

島原鉄道南目線存廃問題 年表

2007年

- 1月31日 島原鉄道は2008年4月1日に南線廃止と予告記者発表
この頃、田代弁護士他、島原新聞紙上に存続を訴える投書続く。
- 3月26日 南島原市（市長・議会）より島鉄に存続要望書提出
（国会提出予定の「再生法」の内容が明らかになるまでの廃止届延期を要望）
- 3月31日 島鉄、九州運輸局へ廃止届提出（1年後に廃止）
- 4月17日 「第1回島原鉄道自治体連絡協議会路線廃止問題対策会議」
島鉄より「単年度1億1千万円の赤字補助を将来とも得られれば存続について検討が可能」との発言。
- 4月20日 NHK『長崎ウォッチ』で島鉄南線廃止問題の特集
泉川欣一氏の乗車促進運動を紹介。「上下分離方式」や『活性化再生法』を紹介
- 5月25日 『地域公共交通の活性化及び再生に関する法律』公布(以下「再生法」)
この頃田代氏再び島鉄存続を島原新聞紙上で訴え、「再生法」の活用を提案。
- 7月26日 「第2回廃止問題対策会議」、「南線存続への公的支援困難」と結論付ける。
- 10月31日 「第3回廃止問題対策会議」、島鉄より代替バス運行計画が提示される。
- 12月9日 「島原半島を未来につなぐ会」、署名運動を開始。
- 12月19日付日経新聞ほか各紙、「再生法」改正の動きを報道（上下分離に財政支援など）
- 12月21日 「島原半島を未来につなぐ会」、有家町の浦川酒造にて勉強会開催

2008年

- 1月17日 「島原半島を未来につなぐ会」、島原市長・南島原市長に対し「再生法」に基づく協議会設置要望と「総合連携計画」素案を3万5933筆の署名簿とともに提出。
- 1月29日 「再生法」改正案閣議決定。『鉄道事業再構築事業』を追加。
- 2月22日 「島原半島を未来につなぐ会」、南島原市議会に対し「島原鉄道南線存続を検討する法定協議会の設置にかかる請願」を提出。（3月3日島原へも同内容）
（両市長とも、7条要望に対する回答は請願採否後を示唆）
- 2月22日 島原駅2階ホールにおいて「まちづくり講演会」開催
（講師：路面電車と都市の未来を考える会（RACDA）会長、岡将男氏）。
- 3月5日 南島原市議会全員協議会にて、泉川欣一氏意見陳述
- 3月7日 3月3日付 中川忠則氏、島原市議会に対して「島原鉄道の島原市から諫早市間の総合連携計画作成のための法定協議会の設置に係る請願書」を提出。
- 3月10日 「おどみや島鉄応援団」スタート / 署名累積数44740筆と発表
- 3月11日 島原市議会総務委員会で、請願を審議。継続審議となる。
- 3月18日 島原市議会総務委員会（再）島鉄を呼んで事情を聞き不採択
- 3月19日 南島原市議会全員協議会（再）島鉄を呼んで事情聴取
- 3月21日 両議会とも、議会最終日（請願は両市とも不採択）島原市 5 対 17 南島原市 13 対 16
- 3月21日 泉川先生テレビ出演。長崎NHK「長崎のこれから / 消えゆく公共交通」
- 3月24日 両市から「つなぐ会」に対して回答（1/17分）「協議会は設置しない。」
- 3月25日 島原市単独で「地域公共交通協議会」を設置（鉄道再生を含まない）
- 3月28日 「つなぐ会」島鉄に直接行動。現金500万円を添えて「休止」を迫るも拒絶される。